

An underwater scene with a deep blue background. Sunlight rays stream down from the top left corner. Numerous jellyfish of various sizes are scattered throughout the water, and a large plume of bubbles rises from the bottom center. The overall atmosphere is serene and aquatic.

SURUGA bank Hello Book 2008

ミニディスクロージャー誌

第198期営業の中間ご報告

平成20年4月1日～平成20年9月30日

ごあいさつ

当社の概要 平成20年10月1日現在

設立	明治28年10月19日		
本店	静岡県沼津市通横町23番地		
店舗数	国内	127	
	静岡県内	79	神奈川県内 36
	東京都内	5	北海道内 1
	宮城県内	1	埼玉県内 1
	千葉県内	1	愛知県内 1
	大阪府内	1	福岡県内 1
資本金	30,043百万円		



皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに当社第198期中間期の営業の概況についてご報告申し上げます。

【金融経済環境】

当期における日本経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した国際金融資本市場の緊張が長期化するなか、資源価格の高騰および海外経済の減速を背景に、設備投資や輸出の増勢が鈍化し、個人消費も伸び悩みました。

このような経済環境のもと、株式市場につきましては、米国の金融不安後退による景気回復や企業収益向上への期待を背景に、日経平均株価は6月に一時14,600円台まで上昇しました。その後、原油および商品価格の高騰などによるインフレ懸念の高まりや米国金融不安の再燃から、国内景気の減速懸念が強まり、株価は下落に転じました。特に9月は米大手証券会社の破綻をきっかけに、世界的に金融市場が混乱し、米国株価の大幅な下落の影響を受けて国内株価も大幅に下落し、日経平均株価は11,200円台で9月末を迎えました。

債券市場では、資源価格の高騰による物価上昇懸念と、国際金融資本市場の過度な悲観論や景気減速懸念の後退を背景に、長期国債の流通利回りは6月に1.8%台後半まで上昇しました。しかしながら、その後は米国金融システム不安の再燃による信用収縮や景気減速懸念および原油価格の下落などにより、長期国債の流通利回りは低下し、9月末は1.4%台後半で取り引きを終えました。

外国為替市場は、米国金融当局による積極的な金融危機対応や米財務長官によるドル買い介入を示唆する発言等もあり、6月には1ドル108円台半ばまで円安が進行しました。その後、米国政府系住宅金融

目次

ごあいさつ	1
営業の概況	3
不良債権の状況	8
財務情報(連結)	10
財務情報(単体)	13
株式についてのご案内	16
トピックス	17
地域への支援活動	18
「I DREAM」サッカーを通じての夢応援	19
主なインターネット支店一覧	20
営業店舗網	21

本誌の表示金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

大手の経営不安を受け、一時104円台までドルが売られましたが、米国政府が支援を表明すると再びドルが買われました。8月には日本政府の景気後退局面入りという発言を受けて円売りドル買いが加速し、110円台半ばまで円安が加速しましたが、同月後半には米国金融不安再燃を受け、ドル安に転じました。その後は信用収縮等により市場の流動性が低下し、103～106円台の間で値動きの激しい状況が期末まで継続しました。

【業界動向】

各金融機関においては、政府系金融機関の民営化や異業種からの新規参入等により、業態や地域を越えた競争がより一層激化しています。また、建設・不動産業を中心とした上場企業の大型倒産が発生するなど逆風が強まる中、一段と経営戦略の重要性が高まっています。一方で、6月に施行された振り込め詐欺救済法では被害が深刻化する振り込め詐欺への対策が強化されており、金融機関に対しても、犯罪の未然防止や被害者救済など積極的に社会的責任を果たしていく事が求められています。

【当社の業況】

当社は、個人ならびに中小企業のお客さま向けのリテール業務を中心として、お客さまの期待を超えたサービスをご提供し続け、社会から不可欠の存在として高く評価されることを目標とするとともに、当社グループ全体の収益拡大および健全な財務体質の構築に努めております。当期につきましては、景況感の悪化による資金需要の低下が強まる中、住宅ローンを中心とした個人ローン残高は順調に増加しました。しかしながら、米国発の世界的な金融危機の影響から、国内株式市場が大幅に下落したことで保有株式等の評価損が拡大し、一部の銘柄において損失の計上を行いました。その結果、業績予想を下回る結果となりましたが、当社のコアビジネスのひとつである、個人ローンビジネスは堅調に推移していることから、中間配当金につきましては、当初予定通り1株当たり6円50銭といたしました。

【当期中の取り組み】

新しい取り組みとして、平成20年5月より、首都圏、中京圏、関西圏のゆうちょ銀行直営店50店舗を代理店として、当社の個人ローン商品のご提供を開始いたしました。より広い地域で、より身近にお客さまの夢の実現をお手伝いさせていただきます。

新商品・サービスにつきましては、平成20年4月、当社が本商品をご利用いただくお客さま1世帯につき毎年2トンの排出権を国に移転することによって、お客さまと当社が協働して地球温暖化防止に貢献していく、「カーボンオフセット付き住宅ローン」を発売いたしました。

また、お客さまの個人情報保護をはじめとした情報セキュリティにつきましては、平成20年9月、当社のホームページおよびインターネットバンキングをご利用されるお客さまをフィッシング詐欺から未然に守る対策として、株式会社セキュアブレインのフィッシング対策ソリューション「PhishWall（フィッシュウォール）」を採用し、サービスを開始いたしました。当社はこれまでも情報セキュリティ強化のための各種対策を講じてまいりましたが、今後もお客さまが安心してホームページやインターネットバンキングをご利用できる環境整備を進めてまいります。

新たな営業店舗につきましては、平成12年より国内銀行において初めてインターネット支店を開設しネーションワイドな店舗展開を行って参りましたが、さらに広い地域のお客さまと直接お話しさせていただくことで、より一層のサービス充実を図りたいとの想いから、平成20年5月に「札幌支店」、8月に「福岡支店」、10月には「仙台支店」を開設いたしました。

当社の基幹事業のひとつである住宅ローンのご相談をお受けする窓口につきましては、5月の札幌支店開設と同時に「ドリームプラザ札幌」、8月の福岡支店開設と同時に「ドリームプラザ福岡」、10月の仙台支店開設と同時に「ドリームプラザ仙台」を開設し、ローン専用相談窓口は合計23ヶ所となりました。

当社では、新たな分野への積極的な取り組みにより、「お客さまの期待を超えた良質のサービス」をご提供し、「ライフ アンド ビジネス コンシェルジュ」として、お客さまの〈夢をかたち〉にする、〈夢に日付〉をいれるお手伝いができるパートナーとなるべく、役職員一丸となって努力してまいります。

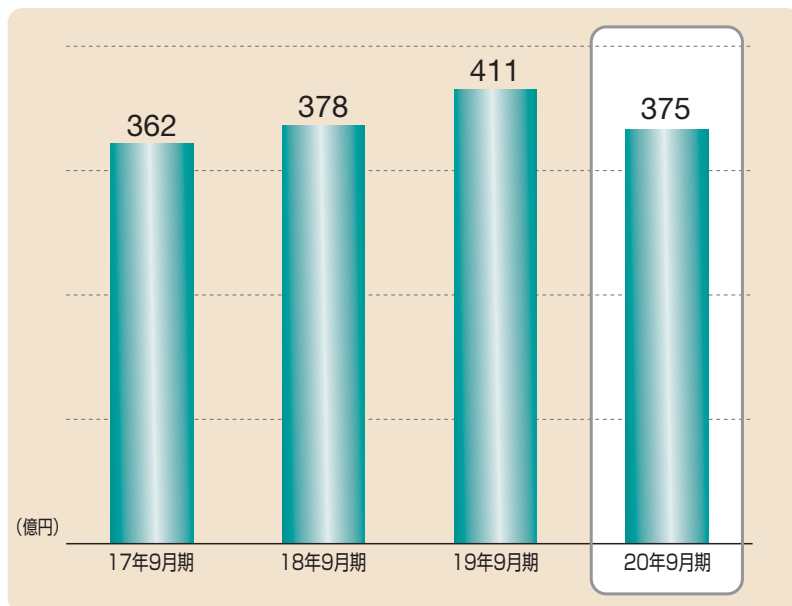
皆さま方には、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月

社 長 岡野光喜

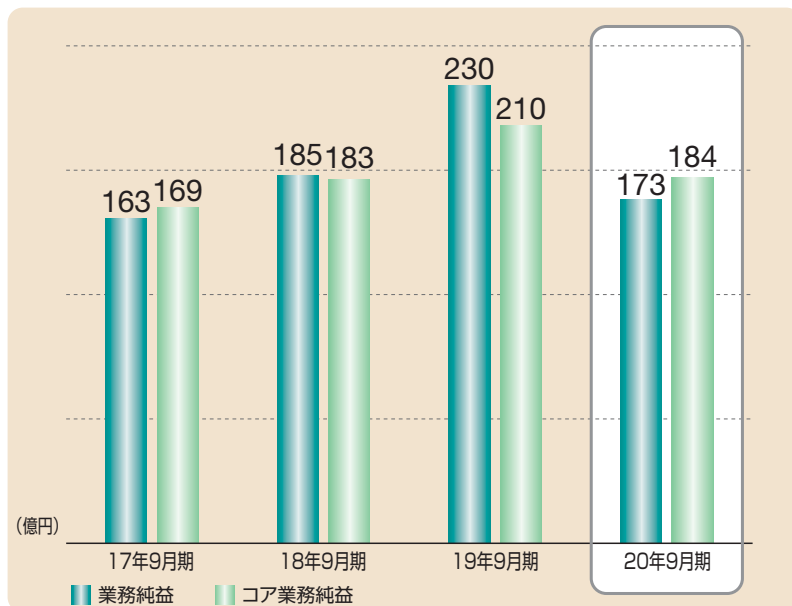
営業の概況

当期の業績につきましては、次のとおりです。



■ 営業粗利益

営業粗利益は、銀行の基本的な業務による利益を表すもので、貸出金や有価証券、預金などの利息収支を表す「資金利益」、各種手数料収支を表す「役務取引等利益」、外国為替などの売買損益を表す「その他業務利益」により構成されます。収益性の高い個人ローンは引き続き順調に増加しましたが、株式市場の大幅な下落を受けて、保有しております投資信託等の減損処理の発生や役務取引等利益の減少等により、営業粗利益は前年同期比35億円減少しました。



■ 営業純益／コア業務純益

当社の主なビジネスのひとつである個人ローン残高は順調に増加しましたが、新店舗開設等、営業強化に伴う費用が増加したことによる経費の増加等により、コア業務純益は、前年同期比25億円減少しました。営業純益は、コア業務純益の減少と国債等債券損益(5勘定戻)の減少等により前年同期比56億円減少しました。

業務純益は、銀行本来の業務に関する収益力を表す銀行固有の指標で一般企業の営業利益に相当するものです。

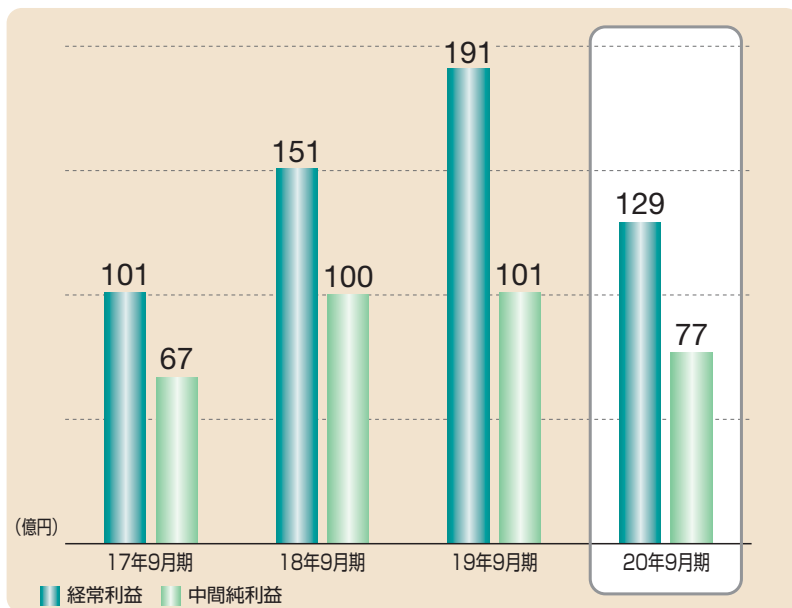
コア業務純益は、業務純益から特殊な要因で変動する一般貸倒引当金繰入額と国債等債券関係損益の影響を除いたもので、より実質的な銀行本来の業務に関する収益力を表しています。

業務純益

= 営業粗利益 - 経費 - 一般貸倒引当金繰入額

コア業務純益

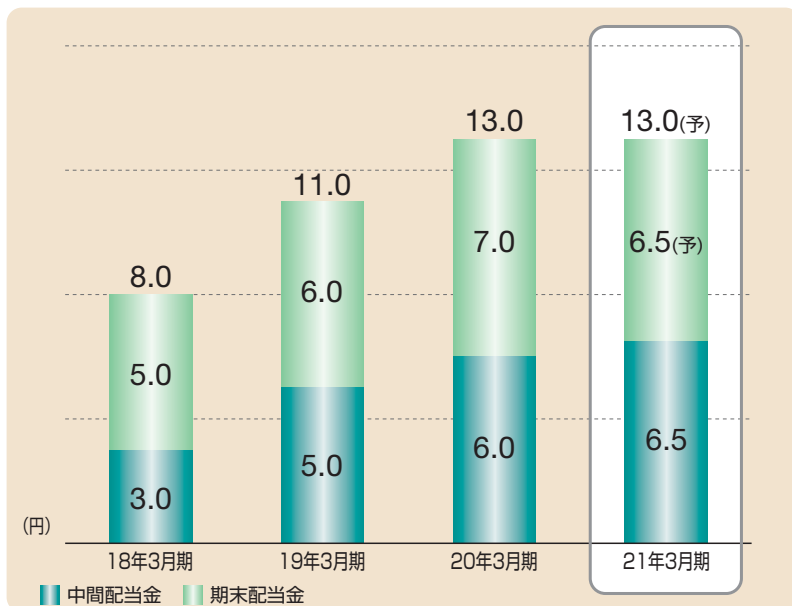
= 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) - 国債等債券損益(5勘定戻)



■ 経常利益／中間純利益

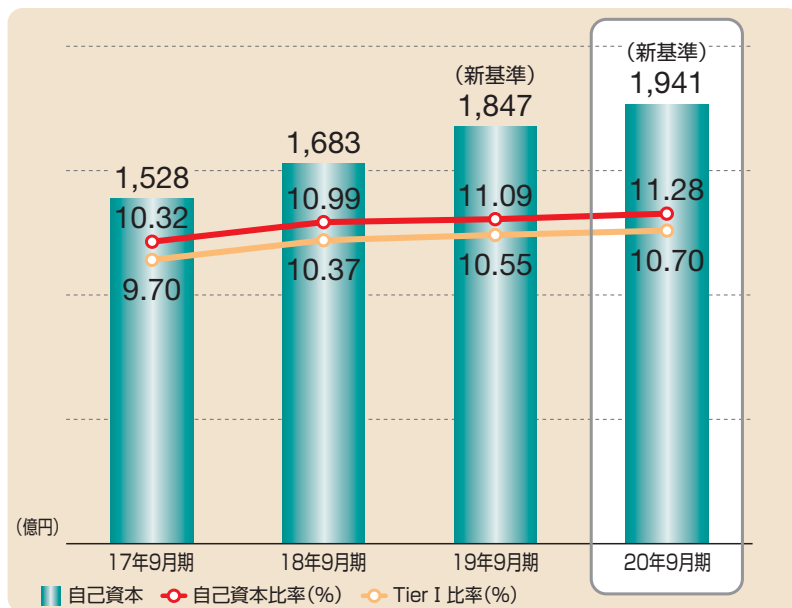
経常利益につきましては、不良債権処理額はほぼ見通し通りとなりましたが、世界的な株式市場の大幅な下落を受け、保有有価証券の一部につきまして減損処理による損失計上を行ったため、前年同期比62億円の減少となりました。

中間純利益につきましては、前年同期比23億円の減少となりました。



■ 一株当たり年間配当金

中間期業績につきましては、株式市場の下落などの一時的要因により業績見通しを下回る結果となりましたが、当社のコアビジネスのひとつである個人ローンビジネスは、引き続き堅調に推移していることから中間配当金につきましては、当初予定通り1株当たり6円50銭とさせていただきます。1株当たり年間配当金につきましては13円を予定しております。



■ 自己資本／自己資本比率(国内基準)

経営の健全性を示す自己資本比率につきましては、利益の積み上げによる内部留保の順調な増加により、前年同期末比0.19%上昇し、11.28%となり引き続き高水準を維持しております。

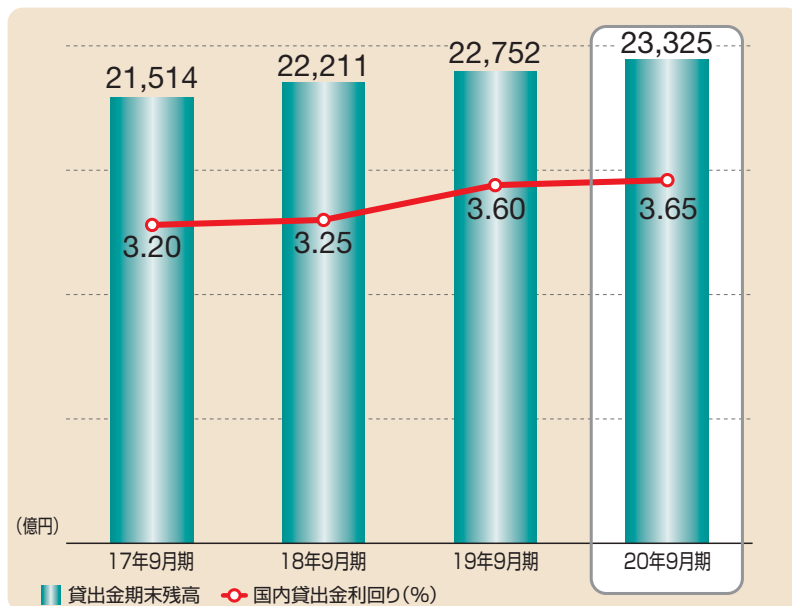
自己資本は資本金、資本剰余金、利益剰余金等の基本的項目 (Tier I) と一般貸倒引当金等の補完的項目 (Tier II) により構成されています。当社の補完的項目 (Tier II) は一般貸倒引当金のみ計上しております。

自己資本比率

= 自己資本額 (基本的項目 + 補完的項目 - 控除項目) / リスクアセット × 100

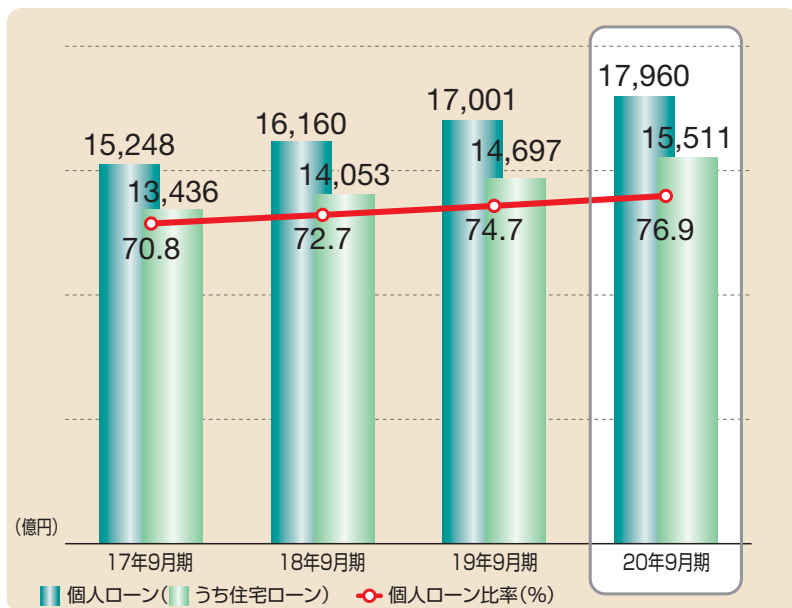
Tier I 比率

= 自己資本額 (基本的項目: Tier I) / リスクアセット × 100



■ 貸出金期末残高／国内貸出金利回り

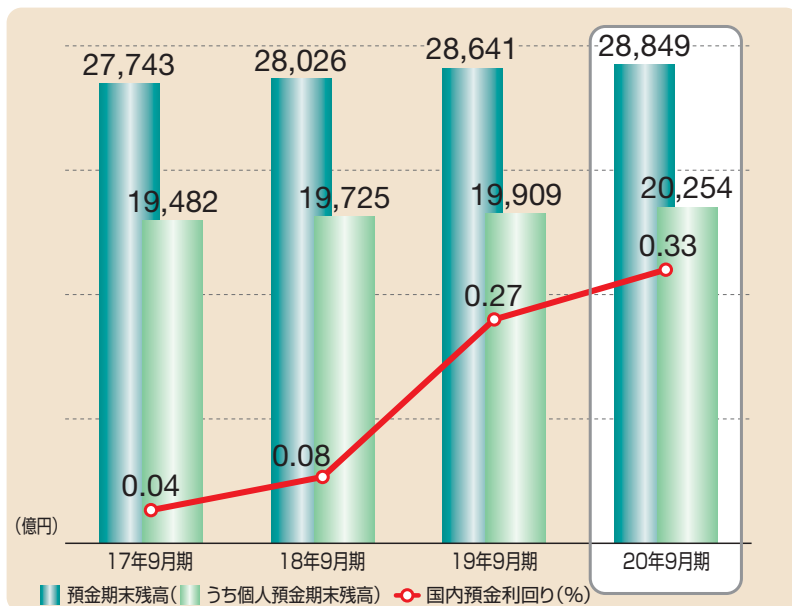
貸出金期末残高は、個人ローンの増加を主因に、前年同期末比572億円増加の2兆3,325億円となりました。また、国内貸出金利回りは、収益性の高い個人ローンの増加により、前年同期比0.05%上昇し3.65%となりました。



個人ローンにつきましては、引き続き住宅着工件数の低迷等により、厳しい市場環境が続く中、前年同期末比958億円増加し、1兆7,960億円となりました。

住宅ローン期末残高は、前年同期末比814億円増加し、1兆5,511億円となりました。

総貸出金に占める個人ローンの比率は、76.9%となりました。

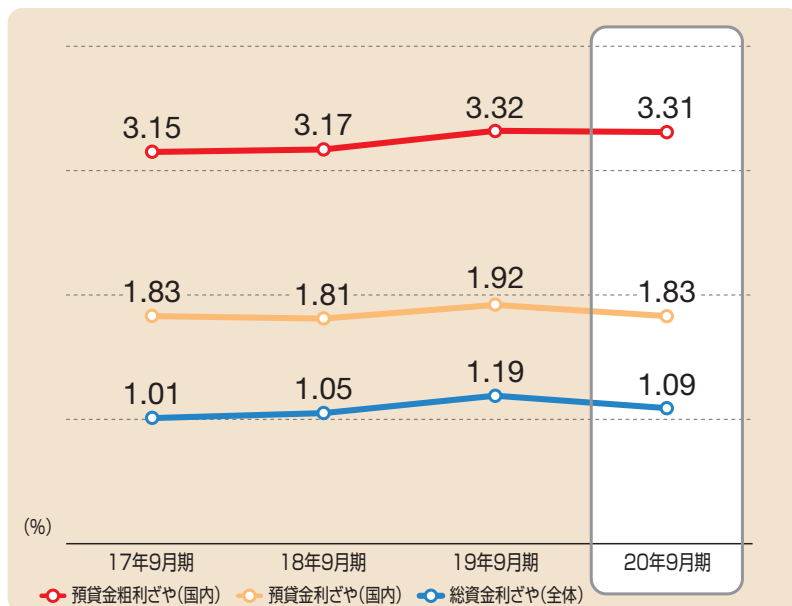


預金期末残高は、個人預金の増加を主因に前年同期末比207億円増加し、2兆8,849億円となりました。

個人預金期末残高は、前年同期末比344億円増加し、2兆254億円となりました。

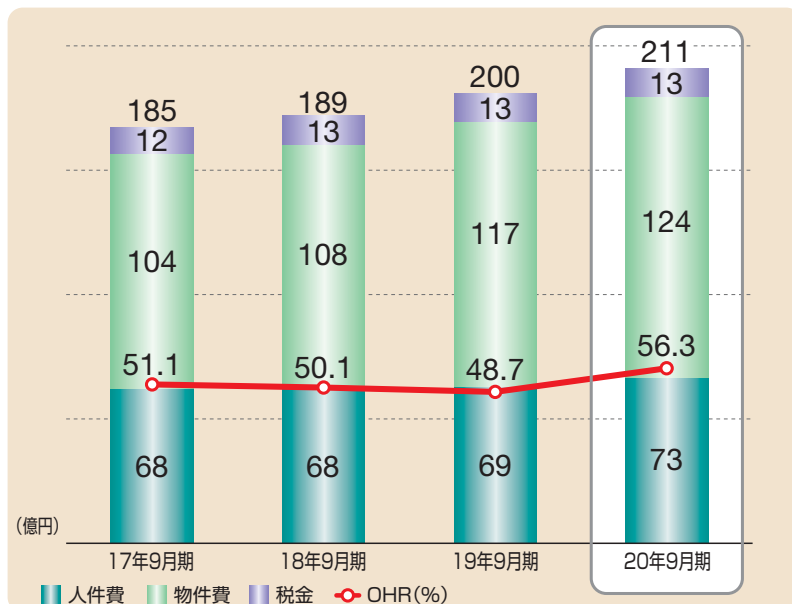
国内預金利回りは、前年同期比0.06%上昇し、0.33%となりました。

営業の概況



預貸金粗利ざやは、貸出金利回りに対して預金利回りを控除した、銀行における主要事業の収益性を表すものです。預貸金利ざやは、預貸金粗利ざやからさらに経費率を控除したものです。総資金利ざやは、資金運用全体と資金調達全体の利回りの差を表すものです。

預貸金粗利ざや(国内)は、預金等利回りの上昇があったものの、収益性の高い個人ローンの増加により、貸出金利回りが引き続き上昇したことにより、前年同期比0.01%低下とほぼ前年並みの水準となり、引き続き高い収益性を維持しております。

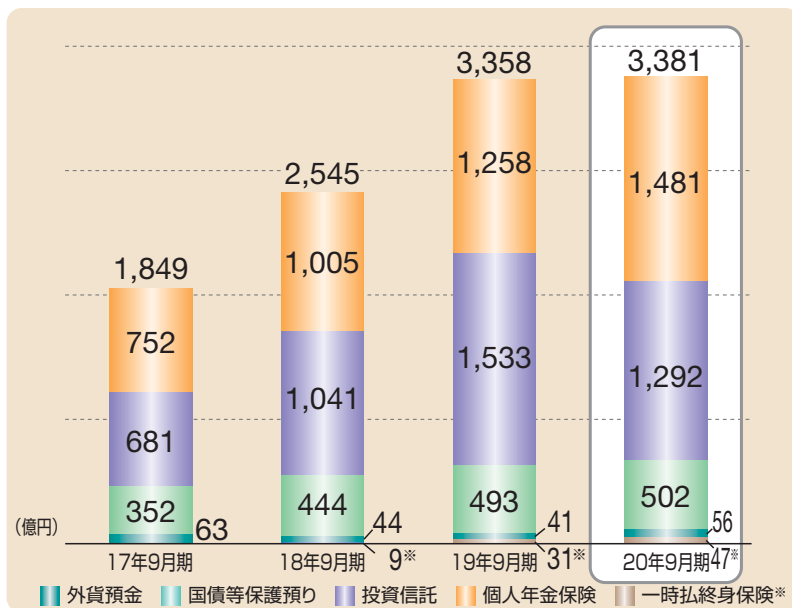


■ 経費 / OHR

経費は、新店舗設置(札幌、福岡、仙台支店)等の営業強化に伴う費用が増加したことにより、前年同期比11億円の増加となりました。

業務の効率性を示す指標であるOHR(オーバーヘッドレシオ)は、56.3%となりました。

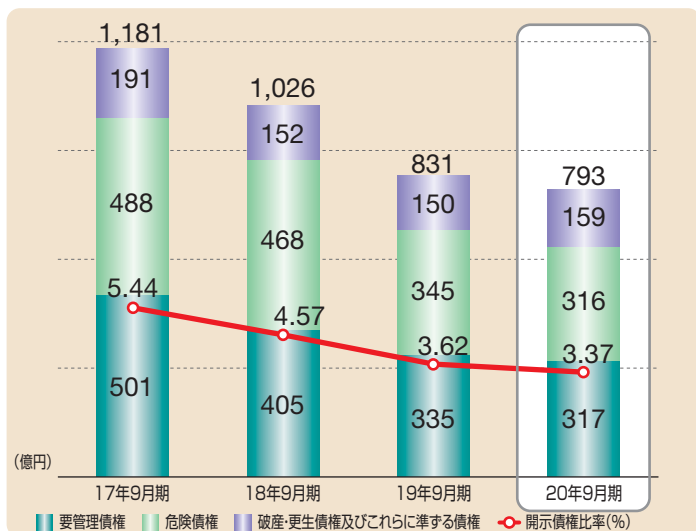
OHR(オーバーヘッドレシオ(%)) = 経費 / 業務粗利益 × 100



個人預り資産残高 (投資性商品)

個人預り資産 (投資性商品) の期末残高は、市況の悪化により投資信託の残高は減少しましたが、定額年金保険を中心に個人年金保険の販売が好調だったため前年同期末比23億円増加しました。

不良債権の状況



金融再生法開示債権残高・比率の推移

厳しい経済環境が続く中、より一層の資産の健全化を図るため、迅速な処理を進める一方、お取引先の経営改善支援にも積極的に取り組みました結果、開示債権額は、前年同期末比37億円減少し793億円となりました。

総与信額に対する開示債権比率は、前年同期末比0.25%低下し、3.37%となりました。

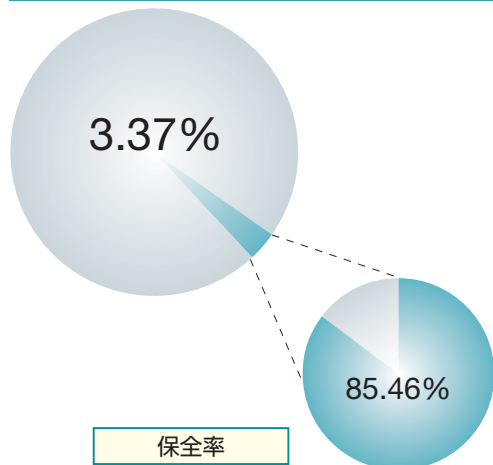
開示債権比率 (%) = 開示債権残高 / 総与信残高 × 100

不良債権の状況

金融再生法に基づく開示債権

対象：要管理債権は貸出金のみ、その他は貸出金等と信関連債権

総与信残高に占める比率

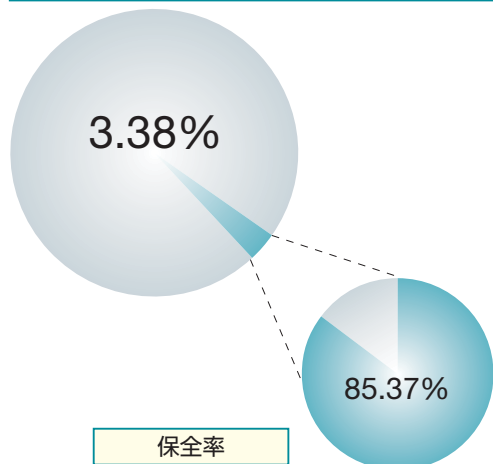


		担保・保証	引当額	保全率
破産・更生債権及びこれらに準ずる債権	159億円	107億円	52億円	100.00%
危険債権	316億円	188億円	110億円	94.35%
要管理債権	317億円	159億円	61億円	69.31%
小計	793億円	455億円	223億円	85.46%
正常債権	2兆2,737億円			
合計	2兆3,530億円			

リスク管理債権

対象：貸出金

総貸出金に占める比率



破綻先債権	24億円
延滞債権	446億円
3ヶ月以上延滞債権	17億円
貸出条件緩和債権	300億円
合計	789億円

貸出金残高(末残) 2兆3,325億円

自己査定における債務者区分

対象：貸出金等と信関連債権

破綻先	26億円
実質破綻先	133億円
破綻懸念先	316億円
要注意先	
要管理先	498億円
要管理先以外の要注意先	2,093億円
正常先	2兆463億円
合計	2兆3,530億円

※貸出金等と信関連債権：貸出金・支払承諾見返・外国為替・貸付有価証券・貸出金に準ずる仮払金・貸出金未収利息・当社保証付私募債

財務情報（連結）

中間連結貸借対照表（平成20年9月30日現在）

（単位：百万円）

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	68,367	預金	2,883,016
コールローン及び買入手形	156,643	借入金	5,186
金銭の信託	2,161	外国為替	13
有価証券	466,137	その他負債	24,980
貸出金	2,328,434	賞与引当金	622
外国為替	5,275	退職給付引当金	148
リース債権及びリース投資資産	7,804	役員退職慰労引当金	2,216
その他資産	41,760	睡眠預金払戻損失引当金	305
有形固定資産	34,600	偶発損失引当金	123
無形固定資産	5,046	支払承諾	5,725
繰延税金資産	24,746	負債の部合計	2,922,338
支払承諾見返	5,725	(純資産の部)	
貸倒引当金	△35,507	資本金	30,043
資産の部合計	3,111,197	資本剰余金	19,515
		利益剰余金	143,457
		自己株式	△1,709
		株主資本合計	191,306
		その他有価証券評価差額金	△4,038
		繰延ヘッジ損益	224
		評価・換算差額等合計	△3,813
		新株予約権	342
		少数株主持分	1,022
		純資産の部合計	188,858
		負債及び純資産の部合計	3,111,197

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務情報（連結）

中間連結損益計算書（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）

（単位：百万円）

科目	金額
経常収益	57,672
資金運用収益	45,449
貸出金利息	42,218
有価証券利息配当金	2,156
役務取引等収益	7,112
その他業務収益	4,087
その他経常収益	1,022
経常費用	44,661
資金調達費用	6,253
預金利息	5,340
役務取引等費用	5,019
その他業務費用	5,669
営業経費	22,003
その他経常費用	5,715

科目	金額
経常利益	13,011
特別利益	484
特別損失	165
税金等調整前中間純利益	13,331
法人税、住民税及び事業税	6,288
法人税等調整額	△721
少数株主利益	28
中間純利益	7,736

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書 (平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成20年3月31日残高	30,043	19,489	137,563	△1,992	185,102
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△1,842		△1,842
中間純利益			7,736		7,736
自己株式の取得				△125	△125
自己株式の処分		26		408	435
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額 (純額)					
中間連結会計期間中の変動額合計	—	26	5,894	282	6,203
平成20年9月30日残高	30,043	19,515	143,457	△1,709	191,306

	評価・換算差額等			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計			
平成20年3月31日残高	△2,116	27	△2,089	243	1,181	184,439
中間連結会計期間中の変動額						
剰余金の配当						△1,842
中間純利益						7,736
自己株式の取得						△125
自己株式の処分						435
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額 (純額)	△1,921	196	△1,724	98	△159	△1,784
中間連結会計期間中の変動額合計	△1,921	196	△1,724	98	△159	4,419
平成20年9月30日残高	△4,038	224	△3,813	342	1,022	188,858

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務情報（単体）

中間貸借対照表（平成20年9月30日現在）

（単位：百万円）

科目	金額
（資産の部）	
現金預け金	68,003
コールローン	136,643
買入手形	20,000
金銭の信託	2,161
有価証券	466,484
貸出金	2,332,553
外国為替	5,275
その他資産	34,041
有形固定資産	33,879
無形固定資産	4,964
繰延税金資産	23,655
支払承諾見返	5,731
貸倒引当金	△32,331
資産の部合計	3,101,063

科目	金額
（負債の部）	
預金	2,884,914
外国為替	13
その他負債	20,677
賞与引当金	567
役員退職慰労引当金	2,210
睡眠預金払戻損失引当金	305
偶発損失引当金	123
支払承諾	5,731
負債の部合計	2,914,544
（純資産の部）	
資本金	30,043
資本剰余金	18,600
資本準備金	18,585
その他資本剰余金	14
利益剰余金	143,078
利益準備金	30,043
その他利益剰余金	113,034
別途積立金	101,532
繰越利益剰余金	11,502
自己株式	△1,708
株主資本合計	190,013
その他有価証券評価差額金	△4,072
繰延ヘッジ損益	234
評価・換算差額等合計	△3,838
新株予約権	342
純資産の部合計	186,518
負債及び純資産の部合計	3,101,063

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書 (平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
経常収益	53,373
資金運用収益	44,393
貸出金利息	41,169
有価証券利息配当金	2,150
役務取引等収益	6,745
その他業務収益	1,239
その他経常収益	995
経常費用	40,454
資金調達費用	6,241
預金利息	5,341
役務取引等費用	5,362
その他業務費用	3,192
営業経費	21,339
その他経常費用	4,318

科目	金額
経常利益	12,918
特別利益	480
特別損失	165
税引前中間純利益	13,234
法人税、住民税及び事業税	6,225
法人税等調整額	△785
中間純利益	7,793

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間株主資本等変動計算書(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本								
	資本剰余金					利益剰余金			
	資本金	資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			
						退職給与積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計
平成20年3月31日残高	30,043	18,585	2	18,587	30,043	840	86,532	19,711	137,127
中間会計期間中の変動額									
剰余金の配当								△1,842	△1,842
中間純利益								7,793	7,793
別途積立金の積立							15,000	△15,000	—
自己株式の取得									
自己株式の処分			12	12					
退職給与積立金の取崩						△840		840	—
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)									
中間会計期間中の変動額合計	—	—	12	12	—	△840	15,000	△8,208	5,951
平成20年9月30日残高	30,043	18,585	14	18,600	30,043	—	101,532	11,502	143,078

	株主資本		評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日残高	△1,975	183,783	△2,157	30	△2,126	243	181,901
中間会計期間中の変動額							
剰余金の配当		△1,842					△1,842
中間純利益		7,793					7,793
別途積立金の積立		—					—
自己株式の取得	△125	△125					△125
自己株式の処分	392	404					404
退職給与積立金の取崩		—					—
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)			△1,915	203	△1,711	98	△1,613
中間会計期間中の変動額合計	266	6,230	△1,915	203	△1,711	98	4,617
平成20年9月30日残高	△1,708	190,013	△4,072	234	△3,838	342	186,518

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式についてのご案内

◇ 決算日

毎年3月31日をもって決算を行います。

◇ 配当金

剰余金の配当を行う場合は、下記の剰余金の配当基準日における最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主に対し、お支払いいたします。

剰余金の配当の基準日 3月31日、9月30日

そのほか、当社が定めた基準日

配当金のお受け取りには、お近くの当社本支店・出張所の預金口座振込をご指定くださいますと、お受け取りが早くて便利です。

◇ 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

◇ 基準日

定時株主総会については、毎年3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

◇ 公告の方法

電子公告といたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。なお、銀行法第20条6項の規定による決算公告につきましては、当社ホームページの会社情報・IR情報欄の[決算公告]欄に掲載いたします。

◇ 株式事務取扱場所・取次所

(1) 株主名簿管理人

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社

(2) 同事務取扱場所

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

電話 03-3668-9211

[郵便物送付先お問い合わせ先]

〒137-8650

東京都江東区塩浜二丁目8番18号

日本証券代行株式会社 代理人部

(住所変更等用紙のご請求) 電話 0120-707-842

(その他のご照会) 電話 0120-707-843

株式お手続き用紙のご請求をインターネットでも受け付けております。

ホームページアドレス

<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

(3) 同取次所

日本証券代行株式会社 各支店

◇ お知らせ

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式の買取・買増請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-707-842で承っておりますので、ご利用ください。

トピックス

「カーボンオフセット付き住宅ローン」の取り扱いを開始

オール電化住宅や太陽光発電システムを搭載した住宅など、環境に配慮した住宅の購入・建築・リフォームを通じて温室効果ガスの排出削減に取り組まれるお客さまをサポートするためのカーボンオフセット付き住宅ローンの取り扱いを開始しました。当社が本商品をご利用いただくお客さま1世帯につき毎年2トンの排出権を国に移転（寄付）する（平成24年度末まで）ことによって、お客さまと当社が協働して地球温暖化防止に貢献してまいります。



詳細はインターネットホームページをご覧ください。
<http://www.surugabank.co.jp/surugabank/kojin/topics/080428.html>

「イービジネスダイレクトカード・ローン」の取り扱いを開始

アコム株式会社と保証提携を行い、新型事業性ローン「イービジネスダイレクトカード・ローン」の取り扱いを開始いたしました。

アコム株式会社の持つローンの審査ノウハウと、当社の金融ノウハウを融合することにより、法人・個人事業主さまの資金ニーズに幅広くお応えしていくものです。



※当社インターネット支店「イービジネスダイレクト支店」専用取扱商品です。
詳細はイービジネスダイレクト支店インターネットホームページをご覧ください。
<http://www.surugabank.co.jp/ebusinessdirect/>

新店舗オープン

5月に「札幌支店」および「ドリームプラザ札幌」、8月に「福岡支店」および「ドリームプラザ福岡」、10月に「仙台支店」および「ドリームプラザ仙台」を開設いたしました。

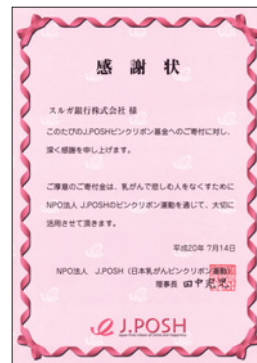
住宅ローン、投資信託等の資産運用のご相談をはじめとして多様化するお客さまのライフ&マネープラン全般をネーションワイドでサポートしてまいります。



ATM時間外手数料より「ピンクリボン運動」へ寄付

当社はJ.POSHオフィシャルサポーターとして乳がんの早期発見、早期診断、早期治療を呼びかける「ピンクリボン運動」の意義や重要性を認識し、協力させていただいております。なお、平成19年12月より、当社ATM時間外手数料の一部金額の寄付（時間外手数料が発生するお取引引き1件あたり1円）を行っております。

7月8日に第1回目の贈呈式が行われ、平成19年12月から平成20年5月末までの約6ヵ月分を贈呈いたしました。



「静岡県立静岡がんセンター公開講座」に特別協賛

平成16年度から本講座に特別協賛をしており、今年で5回目となります。本講座ではトップレベルの医療水準を誇る、静岡県立静岡がんセンターのがんに関する最新医療のご紹介を通して、正しい知識を得ていただくことをテーマにしております。今年は全7回シリーズで平成20年9月より平成21年3月まで開催しております。

地域への支援活動

当社は地域文化の活性化を図るため、地域の催事・記念行事への積極的な参加や文化支援活動などを通じて、皆さまとの連帯・共感を深め、地域社会の明るい発展に力強く貢献していきます。

●24時間テレビ「愛は地球を救う」への協賛

社会貢献の一環として平成6年より日本テレビの24時間テレビ「愛は地球を救う」へボランティア協賛しております。今年は8月31日に静岡県駿東郡清水町のサントムーン柿田川にて募金活動を行い、多くの方の善意をお預かりすることができました。



●富士山清掃への参加

平成14年よりISO14001における社会貢献活動の一環として、富士山の環境保全・美化のため、毎年富士宮市・御殿場市・小山町が実施している富士山清掃に参加しています。

今年の8月10日に実施された小山町の須走登山口での清掃には20名以上が参加し、富士山の美化に努めました。



●ベルナル・ビュフェ美術館

～ワークショップ「クレマチスレインボーガーデン」(5月10日開催)～アーティスト「レインボーマン2002」と一緒に、クレマチスの丘にしゃぼん玉で虹をかける挑戦をしました。

当日は雨模様で、館内中心の活動となりましたが、虹色めがねと虹色マントを身に着けて行った美術館鑑賞ツアーでは、いつもとは違った雰囲気に参加者の方々もとても楽しんでいました。

その後、美術館の中から外に向かってしゃぼん玉を飛ばし、雨の中のしゃぼん玉という少し変わった風景をみることができました。



●財団法人企業経営研究所

～国際交流支援事業(海外研修・研究等助成事業)助成金を交付～7月3日、今年度の「海外研修・研究等助成事業」助成金交付対象者2名に認定書を授与、助成金を交付しました。静岡県内の各学校等で教育指導に当たっている教職員の方々に、海外で技術・技能・知識等を修得・研究し、子供たちに夢や感動を伝え、分かち合うことを志す方を対象に、毎年実施しております。



～スルガビジネススクール MBA講座2008開講～

慶應義塾大学経営大学院の教授陣を中心とした講師を招聘し、企業経営者・経営幹部の方々に対象として実施しております。本格的なケーススタディを使った実践的な講座内容となっており、今年で37回を迎え、延べ900名以上の方々に参加していただいております。



●静岡県内大学生の学外研修、インターンシップ開催

静岡県立大学経営情報学部の学生約100名を対象に就職に向けた勉学や将来設計などを促すキャリア支援の一環として、当社スルガ平本部のキャンパスへブンで学外研修を開催いたしました。

また、平成18年より日本大学国際関係学部および静岡県立大学の学生を対象にインターンシップを行っております。今年も10日間にわたり、6名の学生が当社本部や営業店などで銀行業務を学びました。

今後も学生の皆さまが大きな夢を持ち、自分の個性を磨いていけるようキャリア支援活動を継続してまいります。

「I DREAM」サッカーを通じての夢応援

「第88回天皇杯全日本サッカー選手権大会」に特別協賛

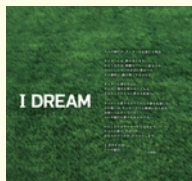
「第88回天皇杯全日本サッカー選手権大会」（財団法人日本サッカー協会、社団法人日本プロサッカーリーグ主催）に特別協賛いたしました。

日本サッカー協会が掲げる「DREAM～夢があるから強くなる～」に共感し、「夢」をミッションに掲げる企業として「I DREAM」（サッカーの夢応援）をコンセプトに、今後もサッカーに関わる人々の「夢をかたちに」するお手伝いをしてまいります。



サッカーの夢応援「I DREAM」

サッカーに関わるあらゆる人々の「夢」を応援していく、その想いがサッカーどころ静岡にはじまり全国に広がっていくことを願い、「I DREAM」（サッカーの夢応援）という新たなコンセプトを立ち上げました。サッカーに夢みる人、サッカー選手を夢みる人などサッカーを愛するすべての人の「夢」を托せる拠り所として「サッカーに集まるすべての夢」を応援してまいります。



「I DREAM」

詳細はインターネット
ホームページをご覧ください
<http://www.idream-jp.com/>

「スルガ銀行チャンピオンシップ 2008 OSAKA

Jリーグヤマザキナビスコカップ／コパ・スダメリカーナ王者決定戦」プレゼンティングスポンサー協賛

本大会は今年度から始まりました「Jリーグヤマザキナビスコカップ」王者と、南米のクラブ選手権のひとつである「コパ・スダメリカーナ」王者が対戦する新しい国際大会です。

記念すべき第一回大会が7月30日、大阪長居スタジアムで行われ、アルセナルFC（アルゼンチン）が初代王者に輝きました。



「SURUGA CUP」へのスポンサー協賛

地域社会のスポーツ振興をお手伝いするため、「スルガカップ静岡県ユース（U-15）サッカー選手権大会」「スルガカップ静岡県ユースリーグ」「スルガカップ争奪静岡県サッカー選手権大会（天皇杯全日本サッカー選手権大会静岡県予選）」にスポンサー協賛しています。

そのうち静岡県のジュニアユース（中学生年代）チームのチャンピオンを決める「スルガカップ静岡県ユース（U-15）サッカー選手権大会」は「高円宮杯全日本（U-15）サッカー選手権大会」の静岡県予選を兼ねており、今大会で20回目を向かえました。毎年決勝に進出した2チームは全国大会を目指し東海大会に出場します。



主なインターネット支店一覧

銀行取引でマイルが貯まる全く新しいマイレージ&バンキングスタイル

ANA支店

<http://www.surugabank.co.jp/ana/>

フリーダイヤル/0120-029-589
(海外から 055-98-02988)

お電話承り時間

9:30~17:00 (月~金曜日) (祝日を除く)



大好評の宝くじ付き商品をご提供

ドリームダイレクト支店

<http://www.surugabank.co.jp/dream/>

フリーダイヤル/0120-86-1689

お電話承り時間

9:00~19:00 (月~金曜日) (祝日を除く)

9:00~17:00 (土曜日)



OCN会員の方専用の金融サービスが充実

OCN支店

<http://www.surugabank.co.jp/ocn/>

フリーダイヤル/0120-005-175

お電話承り時間

9:00~17:00 (月~金曜日) (祝日を除く)



ゆうちょ銀行でお申し込みできるスルガ銀行のローンお取引店

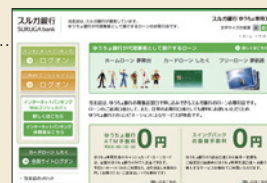
ゆうちょ専用支店

<http://www.surugabank.co.jp/yb/>

フリーダイヤル/0120-745-600

お電話承り時間

9:00~17:00 (月~金曜日) (祝日を除く)



女性向けのバンキングサイト

ソネット支店

<http://www.surugabank.co.jp/so-net/>

フリーダイヤル/0120-50-2189

お電話承り時間

9:00~19:00 (月~金曜日) (祝日を除く)

9:00~17:00 (土曜日)



SE(システムエンジニア)専用の支店

エスイーバンク支店

<http://www.surugabank.co.jp/sebank/>

フリーダイヤル/0120-803-689

お電話承り時間

9:00~17:00 (月~金曜日) (祝日を除く)



インターネットを活用した先進の金融サービスをご提供

ダイレクトバンク支店

<http://www.surugabank.co.jp/directbank/>

フリーダイヤル/0120-708-807

お電話承り時間

9:00~17:00 (月~金曜日) (祝日を除く)



付加価値の高いビジネスローンサービスをご提供

イービジネスダイレクト支店

<http://www.surugabank.co.jp/ebusinessdirect/>

フリーダイヤル/0120-185-285

お電話承り時間

10:00~19:00 (月~金曜日) (祝日を除く)



ネットライフをもっとアクティブに 各種金融サービスをご提供

ネットバンク支店

<http://www.surugabank.co.jp/netbank/>

フリーダイヤル/0120-55-4189

お電話承り時間

9:00~17:00 (月~金曜日) (祝日を除く)



ローン中心のダイレクトバンキング

ダイレクトワン支店

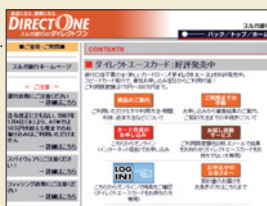
<http://www.surugabank.co.jp/directone/>

フリーダイヤル/0120-60-1616

お電話承り時間

10:00~20:00 (月~金曜日)

10:00~17:00 (土・日・祝日)



詳細はインターネットホームページをご覧ください。

営業店舗網 (127か店) (平成20年11月5日現在)

●静岡県 (79か店)

- 9 E◎ 本店営業部
- 9 E◎ 沼津原町支店
- 9 E 徳倉支店
- 9 E◎ 沼津駅支店
- 9 E◎ 沼津大手町支店
- 5 沼津市役所出張所
- 8 E◎ 沼津港支店
- 9 E◎ 沼津南支店
- 8 E 沼津静浦支店
- 9 E◎ 沼津青野支店
- 9 E 沼津あしたか支店
- 9 E◎ 沼津セントラル支店
- 9 E◎ 三島支店
- 9 E◎ 三島セントラル支店
- 9 E◎ 三島西支店
- 9 E◎ 長泉支店
- 9 E ウェルディ長泉出張所
- ANA支店
- OCN支店
- ソネット支店
- ダイレクトバンク支店
- ドリームダイレクト支店
- ネットバンク支店
- マイ支店
- エスイーバンク支店
- ダイレクトワン支店
- イービジネスダイレクト支店
- タウンネットワーク支店
- ハウジングローン支店
- 9 E◎ 清水町支店
- 9 E◎ 大場支店
- 9 E◎ 伊豆長岡支店
- 9 E◎ 伊豆中央支店
- 8 E◎ 修善寺支店
- 8 E◎ 中伊豆支店
- 8 E 天城湯ヶ島支店
- 9 E◎ 熱海支店
- 9 E◎ 熱海駅支店
- 9 E◎ 伊東支店
- 9 E◎ 伊東駅支店
- 8 E◎ 下田支店
- 8 E◎ 松崎支店
- 8 E◎ 伊豆稲取支店
- 9 E◎ 御殿場駅支店
- 9 E◎ 御殿場西支店
- 9 E◎ 御殿場東支店
- 8 E◎ 裾野支店
- 9 E◎ 小山支店
- 9 E◎ 富士吉原支店
- 9 E 富士市役所前出張所
- 9 E◎ 富士支店
- 9 E◎ 富士鷹岡支店
- 8 E◎ 富士宮支店
- 8 E◎ 清水支店
- 8 E 興津支店
- 9 E◎ 清水駅支店
- 9 E◎ 清水三保支店
- 8 E 清水高橋支店
- 9 E◎ 草薙支店
- 9 E◎ 静岡支店
- 9 E◎ 静岡南支店
- 6 ◎ 静岡県庁支店
- 8 E◎ 伝馬町支店
- 9 E◎ 静岡東支店
- 8 E 静岡上土支店
- 8 E◎ 焼津支店
- 9 E◎ 岡部支店

- 9 E◎ 藤枝駅支店
- 8 E◎ 島田支店
- 9 E◎ 榛原支店
- 8 E◎ 相良支店
- 10 E◎ 金谷支店
- 9 E◎ 掛川支店
- 8 E◎ 袋井支店
- 8 E◎ 磐田支店
- 8 E 天竜支店
- 9 E◎ 浜松支店
- 8 E 浜松追分支店
- 8 E◎ 浜松北支店
- 9 E◎ 茅ヶ崎鶴が台支店
- 8 E 浜見平支店
- 9 E◎ 平塚支店
- 9 E◎ 厚木支店
- 9 E◎ 厚木鳶尾支店
- 8 E◎ 相模原支店
- 8 E◎ 東林間支店
- 8 E◎ 中央林間支店
- 9 E◎ 海老名支店
- 9 E◎ 秦野支店
- 9 E◎ 小田原支店
- 9 E◎ 小田原東支店

●神奈川県 (36か店)

- 8 E◎ 横浜支店
- 6 神奈川県庁出張所
- 11 E◎ 横浜東口支店
- 11 E◎ 横浜日吉支店
- 9 E◎ 横浜戸塚支店
- 8 E◎ 横浜弥生台支店
- 8 E◎ 横浜若葉台支店
- 9 E◎ 横浜磯子支店
- 9 E◎ 横浜六ツ川支店
- 9 E◎ 横須賀支店
- 8 E◎ 横須賀武山支店
- 9 E◎ 久里浜支店
- 8 E◎ 三浦海岸支店
- 8 E◎ 鎌倉支店
- 9 E◎ 藤沢支店
- 8 E◎ 湘南ライフタウン支店
- 9 E◎ 湘南台支店
- 6 慶應義塾大学出張所
- 9 E◎ 辻堂支店
- 9 E◎ 茅ヶ崎支店

●東京都 (5か店)

- 9 E◎ 東京支店
- 6 E◎ 渋谷支店
- 6 E◎ 新宿支店
- 7 E ミッドタウン支店
- ゆうちょ専用支店

●その他 (7か店)

- 6 札幌支店
- 6 仙台支店
- 6 E 大宮出張所
- 6 E 柏出張所
- 6 ◎ 名古屋支店
- 6 大阪支店
- 6 福岡支店

店舗のご案内

◎印は外貨両替取扱店

○印は外貨両替取扱店(外貨現金売渡のみ)

E印はATM、土曜・日曜・祝日取扱店

(1/1～1/3および5/3～5/5を除く)

〈5/3～5/5のうち日曜日にあたる日は営業〉

5はATM平日17時まで取扱店

6はATM平日18時まで取扱店

7はATM平日19時まで取扱店

8はATM平日20時まで取扱店

9はATM平日21時まで取扱店

10はATM平日22時まで取扱店

11はATM平日23時まで取扱店

自動取引機(ATM)設置状況

●店舗内設置	112か所	336台
●店舗外設置	22,009か所	22,857台
(うちセブン銀行ATM)	12,525か所	13,307台
(うちイーネットATM)	8,858か所	8,893台
(うちタウンネット ワークサービスATM)	445か所	445台
●合計	23,193台	
	(平成20年9月末現在)	

ローンご相談窓口

ドリームプラザ日本橋	横須賀ハウジングローンセンター
ドリームプラザ渋谷	湘南ハウジングローンセンター
ドリームプラザ新宿	平塚ハウジングローンセンター
ドリームプラザ横浜	厚木ハウジングローンセンター
ドリームプラザ札幌	中央林間ハウジングローンセンター
ドリームプラザ仙台	小田原ハウジングローンセンター
ドリームプラザ大宮	三島ハウジングローンセンター
ドリームプラザ柏	富士ハウジングローンセンター
ドリームプラザ名古屋	静岡岡ハウジングローンセンター
ドリームプラザ大阪	藤枝ハウジングローンセンター
ドリームプラザ福岡	浜松ハウジングローンセンター
	ダイレクトハウジングローンセンター

資産運用ご相談窓口

ドリームサロン渋谷	ドリームサロン茅ヶ崎
ドリームサロン新宿	ドリームサロン小田原
ドリームサロン日本橋	ドリームサロン厚木
ドリームサロン横浜	清水ファイナンシャルプラザ
ドリームサロン藤沢	

銀行代理店(50か店)

銀行代理業者の商号

株式会社ゆうちょ銀行

銀行代理業務の概要

ゆうちょ銀行直営店50店舗においてスルガ銀行の住宅ローン等個人ローン業務に係る契約締結の媒介

●埼玉県(6か店)

さいたま支店

川越店

熊谷店

川口店

所沢店

越谷店

●千葉県(4か店)

船橋店

習志野店

柏店

八千代店

●神奈川県(8か店)

横浜店

都筑店

青葉台店

港北店

川崎店

登戸店

藤沢店

橋本店

●東京都(13か店)

本店

京橋店

芝店

浅草店

蒲田店

品川店

渋谷店

中野店

豊島店

赤羽店

練馬店

光が丘店

立川店

●岐阜県(1か店)

岐阜店

●愛知県(3か店)

名古屋支店

中川店

豊橋店

●三重県(1か店)

四日市店

●京都府(2か店)

京都店

伏見店

●大阪府(6か店)

大阪支店

大阪東店

堺店

吹田店

枚方店

布施店

●奈良県(1か店)

奈良店

●兵庫県(4か店)

神戸店

姫路店

尼崎店

宝塚店

●和歌山県(1か店)

和歌山店

ATMネットワークのご案内

入金も出金もできるATM



出金ができるATM



イオン銀行

最寄りのATMの情報が検索できます。

<http://www.surugabank.co.jp/surugabank/shiten/>

緊急連絡先のご案内

キャッシュカード・通帳・印鑑を紛失された際は、直ちにお取引店または以下緊急サポートセンターへご連絡下さい。

スルガ銀行緊急サポートセンター

☎055-987-8182 24時間365日(有人受付)

同時に最寄りの警察(交番)にもお届け下さい。



スルガ銀行

詳しい内容、お問い合わせは

アクセス
センター  **0120-50-8689**
お電話 承り時間 月～金曜日(祝日を除く) 9:00～19:00

ホーム
ページ www.surugabank.co.jp



JQA-QM4469
JQA-EM1256
JQA-IM0301
アクセスセンター

